

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

# まちかどレポート

## 玉川校区で乗り合いタクシーの実証実験が始まりました

乗り合いタクシー方式による買い物支援の実証実験が玉川校区で10月27日から始まりました。高齢化率が高く、高齢者の皆さんとの移動手段が課題となっていたことから、同校区のまちづくり協議会が平成30年度より検討を進めていたものです。

運行は大牟田富士タクシーに委託し、校区内でも山間部の3地域が対象。週に2回、事前予約した人が自宅と商業施設との間を片道300円で利用できることになります。同協議会の久保田充会長は「なんとか実験を成功させ、他の地域にもひろげていきたい」と話しました。



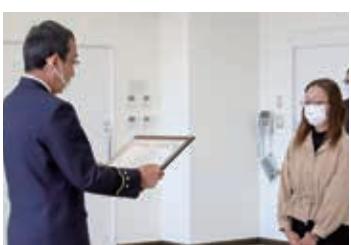
## 育児体験で、パパ、ママになる心構えを



もうすぐパパ、ママになる人たちが、育児のことを体験しながら学べる「パパ・ママ育児専科」が11月14日、保健センターで行われました。参加した8組の皆さんには、人形の赤ちゃんを使い、抱っこするときのポイントや着替え・おむつ交換の仕方、お風呂の入れ方などを学びました。装具を付けて妊婦疑似体験をしたパパたちは「起き上がるのも大変」「足元が見えない」などと話し、妊婦さんの大変さを身をもって体験しました。

## 救命リレーによる人命救助に感謝状を贈呈

運転中に心肺停止となった運転手を発見し、車から救出・救命した功績をたたえ、市外の松尾三千代さん、松尾知之さん、市内の内山康代さん、内山大さんらに10月27日、消防署から感謝状が贈呈されました。通報から車の移動、救出、応急手当まで皆さんの迅速な判断と勇気ある行動で、大切な命を救うことができました。



感謝状を受け取る松尾三千代さん（左）、内山康代さん（右）



手作りのパネルを使って、説明します。  
皆さんからの質問にも丁寧に答えました

## 駒馬小6年生が宮原坑のガイドデビュー！

駒馬小学校では毎年6年生が宮原坑のことを勉強し、来場者に月1回ガイドを行っていましたが、今年は新型コロナの影響で披露する機会がなく、10月9日、初めて保護者や地域、3年生に向けてガイドを行いました。子どもたちは緊張しながらも、ジェスチャーを交えたり、相手の反応を確認しながら、上手に説明しました。



## 施設を貸してくれてありがとう

不知火保育園から市に対して10月21日、豪雨で被災した園舎の復旧にあたり、代替として使用した旧駒馬南小学校の使用終了の報告と、園児たちから感謝の気持ちを込めた絵の贈呈が行われました。



## 大牟田を花いっぱいのまちに

大牟田を訪れた人を花で出迎えようと「おおむた花街道プロジェクト」が11月7日行われ、300人を超える参加者が、大牟田駅周辺の国道208号沿いにノースポールなどの花苗を植えました。



## 東洋アルミニウム(株)がテクノパークへ

大阪市に本社がある「東洋アルミニウム株式会社」が、事業拡張を図るために市外にある九州工場を全面移転し、大牟田テクノパークへ進出されることとなり、10月14日に企業立地協定書を締結しました。

## (株)日立ハイテク九州がエコタウンへ

手鎌に本社がある「株式会社日立ハイテク九州」が、事業効率化と生産性向上を図るため、大牟田エコタウンへ進出（増設）されることとなり、10月28日に企業立地協定書を締結しました。